

新型コロナウイルス感染症の世界的拡大の状況に照らし、
従来の舞台審査に加えて映像審査を設け、2本立てで行います

映像なかのコンペ 全部門予選なし決選	リアル舞台なかのコンペ
<p>-部門-</p> <p>Trial 7 (年齢不問) 6分以内</p> <hr/> <p>新たなダンス表現として、舞台とは異なる映像世界での表現に挑戦しているかどうか、その表現が優れているかどうか、審査する。</p> <hr/> <p>創作 (年齢不問) 6分以内 シニア (高校卒業年齢以上) 4分以内 高校生 (該当年齢含む) 3分以内 中学生 3分以内 小学校高学年 (小4-6) 3分以内 小学校低学年 (未就学~小3) 3分以内</p> <p>※群舞で年齢が部門をまたいでも参加可能です。ご相談ください。</p> <hr/> <p>各部門とも、ジャンルを問わず「見る人に感動を与えることができるかどうか」という視点で、「技術」「個性」「芸術性」「ダンサーの輝き」などを総合的に審査する。</p> <hr/> <p>モダンダンス、バレエ、児童舞踊、コンテンポラリー、ストリート系ダンス、ジャズダンス、テーマパーク・ダンス、民俗舞踊等、舞踊の種類は問いません。 *バレエはヴァリエーションのほか、古典全幕に含まれるアンサンブルの抜粋・縮小・改訂版、あるいは創作も歓迎します。</p>	<p>-部門-</p> <p>創作 (年齢不問) 6分以内 (予選は映像審査) シニア (高校卒業年齢以上) 4分以内 (同上) 高校生 (該当年齢含む) 3分以内 (予選無し決選) 中学生 3分以内 (同上) 小学校高学年 (小4-6) 3分以内 (同上) 小学校低学年 (未就学~小3) 3分以内 (同上)</p> <p>※群舞で年齢が部門をまたいでも参加可能です。ご相談ください。</p> <hr/> <p>各部門とも、ジャンルを問わず「見る人に感動を与えることができるかどうか」という視点で、「技術」「個性」「芸術性」「ダンサーの輝き」などを総合的に審査する。</p> <hr/> <p>モダンダンス、バレエ、児童舞踊、コンテンポラリー、ストリート系ダンス、ジャズダンス、テーマパーク・ダンス、民俗舞踊等、舞踊の種類は問いません。 *バレエはヴァリエーションのほか、古典全幕に含まれるアンサンブルの抜粋・縮小・改訂版、あるいは創作も歓迎します。</p>

審査員	片岡康子
	なかの洋舞連盟
	会長 正田千鶴 副会長 中野真紀子
	アジア支部長 玄稀禎 (予定)
	岩本奈月 内田香 小林容子 小平浩子
	妻木律子 寺村敏 藤原悦子

表彰・賞

「映像なかのコンペ」「リアル舞台なかのコンペ」それぞれ部門別に授賞する。
各部門、第1~3位 [なかの洋舞連盟賞]
高校生・中学生・小学校高学年・小学校低学年の4部門については [指導者賞]
[チャコット賞] その他、各賞

早見表

	映像なかのコンペ	リアル舞台なかのコンペ	
部門	創作、シニア、高校生、中学生、 小学校高学年、小学校低学年、 Trial 7	高校生、中学生、 小学校高学年、 小学校低学年	創作、シニア
申込期間	8月1日～8月31日		6月10日～7月10日
予選	—	—	8月30日(映像審査) 創作決選進出者は決選までに スタッフ打合せ
会場	—	—	視聴覚ホール
決選	10月6日	10月10日 小学校低学年、 小学校高学年、 中学生	10月9日 創作、シニア、高校生 創作部門の照明は可能な限り ご希望に沿うように努めます
会場	視聴覚ホール	小ホール	
審査料	創作 15,000円 シニア 12,000円 高校生 10,000円 中学生 10,000円 小学校高学年 8,000円 小学校低学年 8,000円 Trial 7 15,000円	ソロ 15,000円 2,3人 17,000円 4人以上 17,000円に 1人あたり 2,000円追加	予選(映像) 創作 15,000円 シニア 12,000円 決選 創作 32,000円 シニア 17,000円 音楽著作権料

会場はいずれも なかのZERO

— 申込方法(共通) — 全てオンラインで受け付けます

- ①ホームページの「なかのコンペ 2022 申込フォーム」から申し込む。(各受付期間中開設)
- ②①から1週間以内を目処に振込をする。
三菱UFJ銀行 中野支店(店番151) 普通預金口座0860951 なかの洋舞連盟
<以下、映像なかのコンペ、リアル舞台なかのコンペ 創作部門・シニア部門>
- ③受付期間中に、対象となる作品の映像をギガファイル便で送信する。(詳しくはホームページ)

— 映像撮影規定 —

1. 必ず申し込んだ本人の演技、または作品を撮影すること。
 2. 昨(2021)年8月以降に撮影したものであること。他のコンクール等での録画は不可。
 3. 演技中は、指導者の指導や周りの人の声かけ、拍手などが入らないようにすること。
 4. 映像は1回撮りで、一切編集・加工・補正せず、撮影したそのままの状態であること。
 5. 撮影は原則屋内で、地明かりのみで撮影すること。衣裳の着用、メイクの有無は自由。
 6. 音楽は映像にあとから当てずに、必ず音楽を流している状態で撮影を行うこと。
 7. 原則として、撮影するカメラは固定し、横長画面で演技空間全体を正面から撮影すること。魚眼レンズは禁止。
ただし、出場者が画面に収まりきらない場合は、出場者を追う程度の多少のカメラの移動は許容する。
 8. 終始、出場者の全身がはっきりと見え、映像と音声鮮明であること。
- ※空間が広すぎると被写体が遠く小さくなってしまいます。10m×6m程度の範囲での撮影が見やすいようです。
※映像なかのコンペ「Trial 7 部門」は、No.4以降の規定は不問です。ただし、バーチャルキャラクター、CGは不可。

主催 なかの洋舞連盟

後援 中野区 / (株)ジェイコム東京 杉並・中野局 / (一社)現代舞踊協会 /
(一社)全日本児童舞踊協会 / (公社)日本バレエ協会 /
(一社)日本フラメンコ協会 / (公社)日本女子体育連盟
協力 チャコット(株) / (株)ビデオ / (有)エイフレイム

問合せ なかの洋舞連盟

Tel 03-3916-4534

E-mail office@nakanodancecompetitiontokyo.com

またはホームページ「お問合せフォーム」から 検索 なかのダンスコンペ

<http://www.NakanoDanceCompetitionTokyo.com>

なかのZERO案内図

